

平成30年度 学力向上プラン

深谷市立川本南小学校

R 分析

全国学力・学習状況調査より

- ・国語の正答率は全国や県より高かった。言語事項や読む領域は正答率がよかったが、文を正しく書いたり、詳しく書いたりする問題に課題がある。
- ・算数はA問題の量と測定、図形の領域は正答率が高かったが、B問題の数と計算、数量関係の正答率が低かった。記述する、適切に判断する問題に課題がある。
- ・理科は観察実験の技能は正答率が高かったが、科学的思考の領域、記述式の問題に課題がある。

埼玉県学力・学習状況調査より

- ・国語では、読むこと、書くことの領域が、県より正答率が低かった。また、記述式の問題や情景や心情を読み取る問題、自分の考えを明確に書く問題などに課題がある。
- ・算数では、数と計算、量と測定の領域で、県より正答率が低かった。また、数学的な考え方で記述式の問題に課題がある。

NRTより

- ・上位層は比較的多いが、最上位層はほとんどいない。
- ・下位層も少なく、最下位層もほとんどいない。
- ・国語では読むこと、算数では量と測定の内容に弱さがみられる。



G ゴール

【平成34年度までの目標】

- 全国学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。
- 県学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。
- NRTで教科総合において、偏差値52を上回る。

【来年度に向けての数値目標】

- ◎来年度に向けて、上位層5%増やし、下位層を5%減らす。

	国語			算数		
4 学年	上	21%	⇒ 26%	上	15%	⇒ 20%
	下	5%	⇒ 0%	下	0%	⇒ 0%
5 学年	上	3%	⇒ 10%	上	9%	⇒ 15%
	下	6%	⇒ 0%	下	12%	⇒ 7%
6 学年	上	30%	⇒ 35%	上	25%	⇒ 30%
	下	0%	⇒ 0%	下	20%	⇒ 15%

【次年度に向けての重点計画】

- ・ 深谷市スタンダードに基づいた授業の展開を定着させる。
- ・ B問題を積極的に朝自習で取り組んだり、授業に取り入れたりする。
- ・ 校内のグッドプラクティスを分析・研修し、相互授業参観を行い、授業力を高める。
- ・ 小中連携を生かし、他の小中学校のグッドプラクティスを知り、理解する。

8月

校内研修（全教職員で全国学調問題確認、課題と対策、授業改善）

小中合同研修会（小中一貫教育における学力向上、講演会・部会）

9月

校内研修（本校の学力向上の課題と対策・全国学調、県学調の共通理解）

10月

校内研修（学力向上・グッドプラクティスについて）

11月

読書月間

家庭読書週間

学力向上研修（合同授業研究会参加）

12月

B問題を取り入れた授業の実施

1月

漢字検定

コバトン問題集・復習シートを利用した授業、家庭学習。

2月

学力向上旬間の取り組み

漢字検定

3月

小中合同研修会（小中一貫教育学力向上についてまとめ）

さんさんタイム・朝自習の充実

国語科 詩の暗唱・南小五七五

家庭学習のプリントの整備と活用

小中一貫各部会の取り組み学力向上の分析